

「防災の知識」と「備え」で減災を

6月18日、19日および7月4日、18日に発生した大雨は、町内の道路や河川、農作物などに大きな被害をもたらしました。
 これからの季節に増加する大雨や台風などの風水害、さらに地震は、どこでも発生する可能性のある自然災害です。日ごろの備えや防災情報などの入手方法を確認するとともに、町と地域の皆さんが協力し、防災体制を整えることは被害を最小限に抑える「減災」につながります。
 9月1日の「防災の日」は、風水害や地震などの被害を最小限に食い止めるため、日常の備えの大切さを再確認する日です。家庭や地域、職場で災害への備えを確認しましょう。

9月1日「防災の日」

防災の大切さを再確認しましょう

内閣府から「避難情報に関するガイドライン」が令和3年5月に公表され、その方針に沿って町や気象庁などから発表される防災情報を用いて住民の皆さんがとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記しています。

| 警戒レベル | 住民がとるべき行動 | 町からの情報 | 目安となる気象庁などの情報 |
|-------|---|--------|----------------|
| 5 | 命の危険 ただちに安全確保 すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。今いる場所より安全な場所へ直ちに移動 | 緊急安全確保 | 大雨特別警報 |
| 4 | 危険な場所から全員避難 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく | 避難指示 | 土砂災害警戒情報 |
| 3 | 危険な場所から高齢者や障害のある方などは避難 高齢者以外の人も必要に応じ、避難の準備をしたり、自主的に避難 | 高齢者等避難 | 大雨警報 洪水警報 |
| 2 | 自らの避難行動を確認 ハザードマップなどにより、自宅などの災害リスクと避難情報の把握手段を再確認 | | 大雨注意報 洪水注意報 |
| 1 | 災害への心構えを高める | | 早期注意情報 |

ここまでに必ず避難！

洪水ハザードマップで風水害に備えましょう

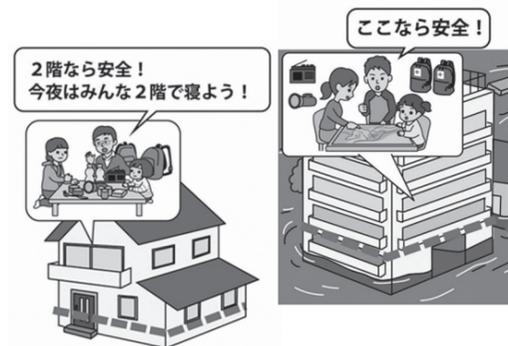
令和4年7月号広報で全戸配布しました「訓子府町洪水ハザードマップ」には、災害が発生する恐れのあるときの避難基準や浸水想定区域、避難所の位置、風水害発生の流れ、気象情報・防災情報の掲載先一覧などが記載されていますので、日ごろの備えに活用しましょう。

洪水ハザードマップが必要な方は、総務課防災危機管理係までご連絡いただくか、右記QRから町ホームページをご覧ください。



■ 最善の安全確保行動

避難に当たっては、指定された避難所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層部に避難するなど、その時点における最善の安全確保行動をとることが重要です。



■ 災害時の3つの助け

一人一人が「自分の命は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持ちましょう。

- ①自助 一人一人が自分の安全を守る
- ②共助 地域や身近にいる隣近所が助け合う
- ③公助 国や町、消防などの行政機関の取り組み

